

日本建築史 (History of Japanese Architecture)					
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
土木建築	選択	5年前	1	講義	中川 明子
【授業の概要】 日本建築の工法、構造の変化に伴う建築の様式、都市の変遷と代表的建築様式の変遷・特徴について学ぶ。					
【授業の進め方】 視覚的理解を助けるため、代表事例などはプロジェクターでの投影を行う。視聴覚教材も利用する。授業内容を理解するために、予習復習のための学習ノート(年表形式)を活用する。その提出は期限を決めて行う。					
【授業の概要】	【授業項目】	【内 容】			
1回	日本建築史ガイダンス	日本建築史を学ぶ意義、建築の発生と発達の原因についての説明。建築史、都市史変遷の概要の説明。学習ノートの使い方についてのガイダンス。			
2回	日本古代の建築 1	縄文・弥生・古墳時代の住居・集落。飛鳥・白鳳時代の寺院。奈良(天平)時代の寺院。その時代背景の説明。			
3回	日本古代の建築 2	平安時代の密教寺院、浄土教寺院。その時代背景の説明。			
4回	日本古代の建築 3	古代の形式を伝承する神社、奈良・平安期成立の神社			
5回	日本古代の建築 4	古代の宮殿と都城、寝殿造			
6回	日本中世の建築 1	大仏様の建築			
7回	日本中世の建築 2	禅宗様の建築、新和様と折衷様の建築			
8回	中間試験	日本古代建築、大仏様、禅宗様について問う。			
9回	日本中世の建築 3	中世の神社			
10回	日本中世の建築 4	北山文化・東山文化、中世の民家			
11回	日本近世の建築 1	城郭建築、書院造り			
12回	日本近世の建築 2	茶室、数寄屋風書院			
13回	日本近世の建築 3	近世の寺院、近世の神社、近世の民家			
14回	日本近世の建築 4	学校、大店、劇場、遊郭			
	期末試験	日本建築史全般について問う。			
15回	解答返却など	日本建築史についての復習、歴史的建造物の保存活用について			
【到達目標】	1. 日本建築の工法、構造の変化に伴う建築の様式、都市の変遷と代表的建築様式の変遷・特徴を理解する。 2. 「世界に通用する」技術者を目指す者として、日本の建築文化への理解を深め、日本の近・現代建築成立への理解へ一助とすると共に、世界各国の建築文化を自ら学び続ける素養を身に付ける。 日本における建築とその周辺環境の歴史的変遷過程を知った上で、建築活動に取り組む姿勢を身に付ける。				
【徳山高専学習・教育目標】	C1	【J A B E E 基準】	I(2)d-1		
【評価法】	後期中間試験 45%、後期末試験 45%、学習ノート(年表シート) 10% の配分で備する。				
【テキスト】	西田雅嗣他、『建築の歴史；西洋・日本・近代』、学芸出版社、2003年				
【関連科目】	歴史(1年)、西洋建築史(1年)、建築デザイン概論(2年)、建築計画(3年)、都市計画(4年)、近代建築史(5年)				
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】
					学年末成績 【 】